



# 2013年漁業センサス結果の概要について

この概要は、平成25年11月1日現在で調査を行った2013年漁業センサスのうち、県が市町村を經由して実施した「海面漁業調査のうちの漁業経営体調査」に関する調査結果を集計したものです。

## I 調査の概要

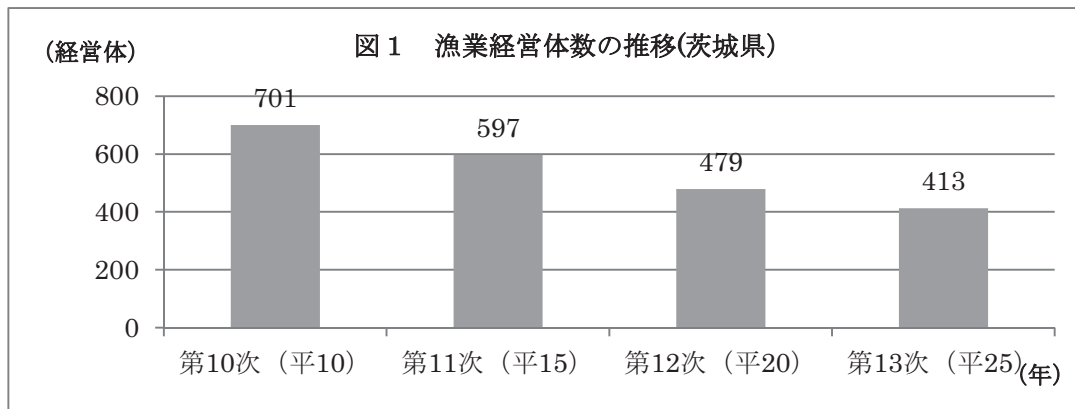
漁業センサスは漁業の生産構造・就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態を明らかにし、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として、5年周期で実施しています。

## II 調査結果の概要

### 1 海面漁業の生産構造

#### (1) 漁業経営体

- 海面漁業経営体数は413経営体で、前回(平成20年調査。以下同じ)に比べ66経営体(13.8%)減少しました。
- 漁業経営体のうち個人経営体は391経営体、団体経営体は22経営体で、前回に比べ個人経営体は71経営体(15.4%)減少し、団体経営体は5経営体(29.4%)増加しました。
- 沿岸漁業層は373経営体、中小漁業層は38経営体、大規模漁業層は2経営体で、前回に比べ沿岸漁業層は67経営体(15.2%)減少し、中小漁業層は1経営体(2.7%)増加し、大規模漁業層は同数でした。



#### ※漁業経営体

過去1年間(平成24年11月1日～平成25年10月31日。以下同じ)に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう。

ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く。

#### ※漁業層

- 沿岸漁業層：漁船非使用、無動力漁船、船外機付漁船、動力漁船10トン未満、定置網及び海面養殖をいう。
- 中小漁業層：動力漁船10トン以上1,000トン未満をいう。
- 大規模漁業層：動力漁船1,000トン以上をいう。

ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く。

(2) 漁船

- ・ 漁業経営体が過去1年間に漁業生産に使用し、調査期日現在保有している漁船の総隻数は511隻で、前回に比べ109隻（17.6%）減少しました。

漁船種類別隻数

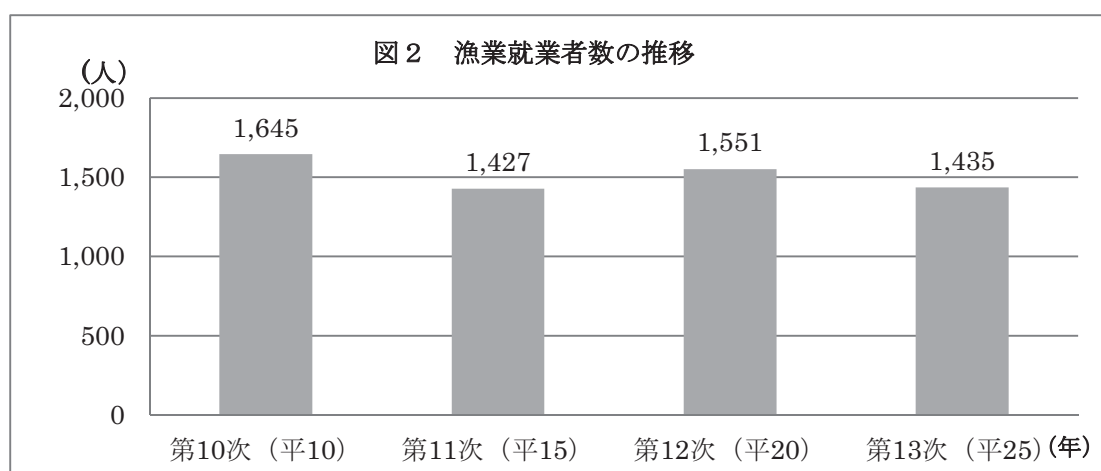
(単位：隻)

漁船種類	H25		H20		増減率 H25/H20 (%)
	隻数	構成比 (%)	隻数	構成比 (%)	
計	511	100.0	620	100.0	△17.6
無動力漁船	3	0.6	1	0.2	200.0
船外機付漁船	89	17.4	102	16.5	△12.7
動力漁船	419	82.0	517	83.4	△19.0

2 海面漁業の就業構造

○漁業就業者数

- ・ 漁業就業者数は1,435人で、前回に比べ116人（7.5%）減少しました。漁業就業者数を男女別に見ると、男性は1,353人（構成比94.3%）、女性は82人（同5.7%）で、前回に比べ男性は113人（7.7%）、女性は3人（3.5%）減少しました。
- ・ 漁業就業者数のうち、65歳以上は342人で、前回に比べ23人減少しましたが、占める割合は23.8%で前回23.5%に比べ0.3ポイント増加しました。



※漁業就業者

満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した者をいう。

企画部統計課（商工農林グループ）  
 代表 029-301-1111（内）2654  
 直通 029-301-2656